

大貫小学校保護者の方への説明会での質疑

期日：令和6年4月27日（土）

出席者 市教育委員会：細谷学校教育課長・大畑主幹

保護者：90名

意見・質問等

Q1：学校再配置とはどのようなものですか。

A1：富津市では児童生徒数が極めて少人数となり、複式学級が複数ある状況を解消するため、複数の学校を1つの学校にするものです。佐貫小学校の極めて少ない児童数を改善するため、大貫小学校と佐貫小学校を1つの学校にすることを検討しています。

Q2：再配置することのよさについて、今後、説明がありますか。

A2：佐貫小学校においては教育環境の整備になりますので、大貫小学校においても、佐貫小学校との学校再配置についてご理解いただきたいと思えます。

Q3：学校再配置を行うとして、開始の時期はいつですか。

A3：保護者の概ね賛成を得て、2年間の準備期間が必要であると考えています。できる限り、令和8年度4月を目途に学校再配置を行いたいと考えております。

Q4：学校名や校歌など変わるのであれば、意見を聞いてほしいです。また、意見を聞くような場はありますか。

Q5：学校名の変更など行う場合、大貫中学校が大佐和中学校になったときと同じような動きになりますか。

A4・5：検討委員会を組織し、必要に応じてアンケートを実施するなどして、地域や保護者の皆様のご意見を伺いながら、学校名、校歌、校章、教育課程、PTA組織等について協議し、決定します。

Q6：環小学校と環南小学校や関豊小学校との、学校再配置の経緯はどのようなものだったのですか。

A6：環小学校と関豊小学校の再配置に関する実施計画を策定し、再配置後の名称、所在地、校歌、校章等を富津市並びに富津市教育委員会から提案させていただきました。

(A4・5にありますように)大貫小学校と佐貫小学校の学校再配置を実施する際は、検討委員会を組織し、ご意見を伺いながら、協議し、決定します。

Q7：なぜ、大貫小学校と佐貫小学校の学校再配置なのでしょう。児童数が少ない吉野小学校などとの学校再配置を検討してはどうですか。

A7：佐貫小学校と大貫小学校の学区が近いことが大きな理由です。また、大佐和中学校との兄弟姉妹関係やスクールバスの運行経路なども考慮し、現在、大貫小学校との再配置が適していると考えております。

Q8：大貫小学校と吉野小学校の入学人数の予想をつかみ、今後、学校再配置について検討する状況があれば、早めに連絡をしてほしいです。

A8：現時点の子どもたちの人数から、今後の大貫小学校の吉野小学校の児童数を予測すると、学校再配置を行う状況ではありません。

今後、再配置を行うべき状況が予測され、再配置についての協議が必要な段階になりましたら、速やかに連絡し、対応してまいります。